

会津大学 構想名：『心・技・体』三位一体による世界で活躍する革新的ICT人材の輩出

□スーパーグローバル大学創成支援 事業目的

- ①大学の国際競争力向上と、多様な場でグローバルに活躍できる人材の育成のため、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行
- ②我が国高等教育の国際通用性、ひいては国際競争力強化の実現

《事業概要》

○タイプA（トップ型） 13大学（申請16件）
世界大学ランキングトップ100を目指す
世界レベルの教育研究を行うトップ大学

採択校
北海道大、東北大、筑波大、東京大、東京医科歯科大、東京工業大、名古屋大、京都大、大阪大、広島大、九州大、慶応義塾大、早稲田大

○タイプB（グローバル化牽引型） 24校（申請93件）
これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、
我が国の社会のグローバル化を牽引する大学

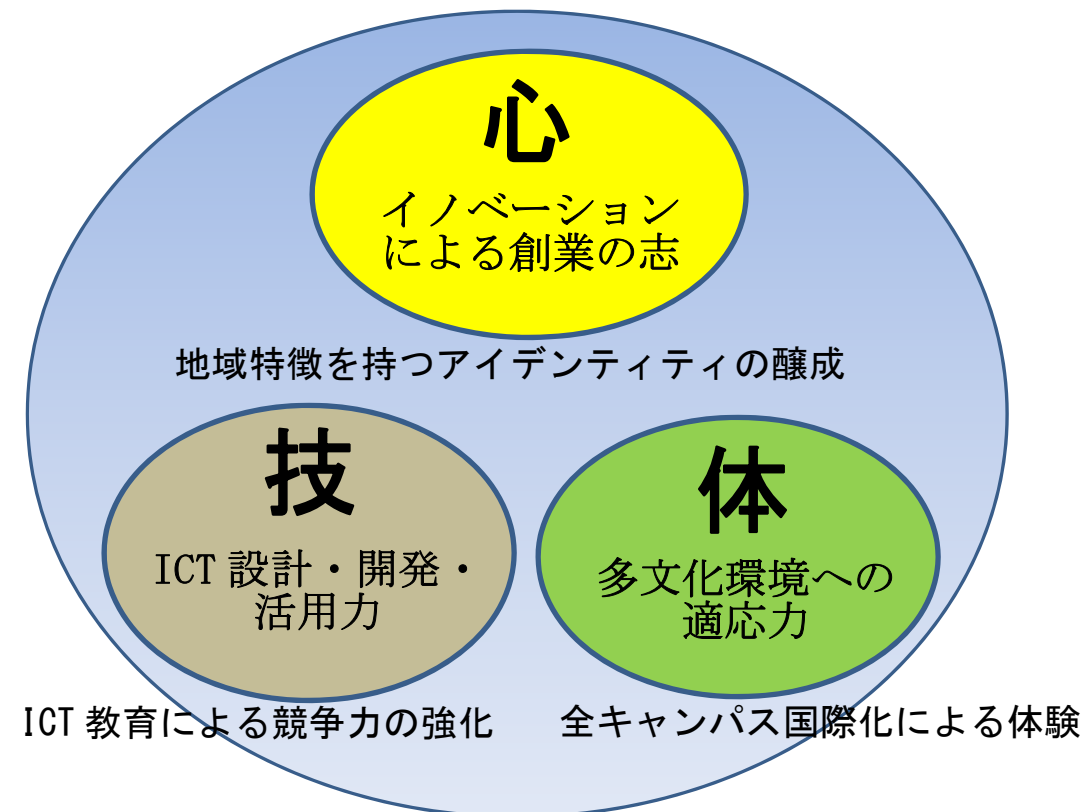
採択校
千葉大、東京外国語大、東京芸術大、長岡技術科学大、金沢大、豊橋技術科学大、京都工芸繊維大、奈良先端科学技術大学院大、岡山大、熊本大、国際教養大、**会津大**、国際基督教大、芝浦工業大、上智大、東洋大、法政大、明治大、立教大、創価大、国際大、立命館大、関西学院大、立命館アジア太平洋大

《事業実施期間》 平成26年度～平成35年度（10年間）

《採択状況》

	大学数 (A)	申請数 (大学数)	採択数 (B)	採択率 (B/A)
国立	86校	57件 (53校)	21校	24.4%
公立	86校	12件 (11校)	2校	2.3%
私立	603校	40件 (40校)	14校	2.3%
計	775校	109件 (104校)	37校	4.8%

「心・技・体」三位一体改革プログラム



実現のための基本プログラムを創設

- 1 学部・大学院一貫オナーズプログラムの創設
学部・大学院一貫した科目体系、柔軟な学期制導入 等
- 2 先進ICTグローバルプログラムの創設
全教科英語による単位取得、日本文化の学習 等
- 3 技術革新・創業基礎・海外研修科目群の創設
大学院に「ベンチャー体験工房特論」を設置、海外拠点活用による研修 等
- 4 ガバナンスの改善とグローバル化
全職員の英語力向上、多文化キャンパスの実現 等

構想のねらい

◆特徴

理工系大学として

- ・外国人教員比率 No. 1
- ・ICT 分野の在学生数 No. 1
- ・公立大学発ベンチャー企業数 No. 1
- ・卒業論文は英語

◆課題

- ・大学院と学部の整合性
- ・英語による ICT 専門教育の徹底
- ・大学院レベルの創業教育
- ・多文化キャンパスの構築

◆上記の4つの課題解決を目指した基本プログラム